

(9枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

〔注意事項〕

- 1 答えは、全て解答用紙に記入すること。
- 2 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類がある。
- 3 問題1～4及び8はマーク式問題、問題5～7及び9は記述式問題である。マーク式問題の答えはマーク式解答用紙に、記述式問題の答えは記述式解答用紙に記入すること。
- 4 問題文中の「ア」、イウなどには、特に指示がないかぎり、符号(−, ±)又は数字(0～9)が入る。ア, イ, ウ, …の記号一つ一つは、これらの符号又は数字のいずれか一つに対応している。それらをマーク式解答用紙のア, イ, ウ, …で示された解答欄にマークして答えること。

例 アイウに−49と答えたいとき

解答番号	解 答 欄											
ア	●	+	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
イ	○	+	0	1	2	3	●	5	6	7	8	9
ウ	○	+	0	1	2	3	4	5	6	7	8	●

なお、同一の問題文中に「ア」、イウなどが2度以上現れる場合、同じ記号には同一の数字(符号)が入るものとする。

- 5 分数の形で解答する場合、分数の符号は分子につけ、分母にはつけないこと。

例えば、 $\frac{\text{エオ}}{\text{カ}}$ に $-\frac{2}{3}$ と答えたいときは、 $\frac{-2}{3}$ として答えること。

また、それ以上約分できない形で答えること。

例えば、 $\frac{3}{4}$ と答えるところを、 $\frac{6}{8}$ のように答えないこと。

- 6 小数の形で解答する場合、指定された桁数まで⑩にマークすること。

例えば、キ、クケに3.6と答えたいときは、3.60として答えること。

- 7 根号を含む形で解答する場合、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えること。

例えば、コ $\sqrt{\text{サ}}$ に $6\sqrt{2}$ と答えるところを、 $3\sqrt{8}$ のように答えないこと。

- 8 根号を含む分数形で解答する場合、

例えば、 $\frac{\text{シ} + \text{ス} \sqrt{\text{セ}}}{\text{ソ}}$ に $\frac{4+2\sqrt{2}}{3}$ と答えるところを、 $\frac{8+4\sqrt{2}}{6}$ や $\frac{8+2\sqrt{8}}{6}$ のように答えないこと。

(9枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

1 あとの1～6に答えなさい。

1 次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 2^{2022} の一の位の数は である。(2) $\sqrt{n^2 + 60}$ が整数となるような正の整数 n の個数は 個である。

2 ある病原菌の検査試薬は、病原菌に感染しているのに誤って陰性と判定する確率が20%、病原菌に感染していないのに誤って陽性と判定する確率が0.1%です。全体の5%がこの病原菌に感染している集団から1人抽出し、この検査試薬を使用します。

(1) 陽性と判定される確率は $\frac{\text{ウエオ}}{\text{カキクケコ}}$ である。(2) 陽性と判定されたとき、その人が実際には病原菌に感染していない確率は $\frac{\text{サシ}}{\text{スセソ}}$ である。3 関数 $f(x) = \sin x - \sqrt{3} \cos x$ ($0 \leq x \leq \pi$) について考えます。(1) $f(x)$ は $x = \frac{\text{タ}}{\text{チ}} \pi$ で最大値 をとる。(2) 2つの関数 $y = f(x)$, $y = \sqrt{2}$ のグラフの交点の x 座標は、 $\frac{\text{テ}}{\text{トナ}} \pi$ である。

(9枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

4 x の方程式 $3^{x+1} - 3^{2x-1} = a$ について考えます。

この方程式が異なる2つの実数解をもつとき、定数 a の値の範囲は $\boxed{ニ} < a < \frac{\boxed{ヌネ}}{\boxed{ノ}}$ である。

5 ある都市におけるある年の1月から12月までの月ごとの平均気温を x ($^{\circ}\text{C}$) とします。

(1) x についての12個の値からなるデータを、 0°C 未満の4個の値からなるAグループと、 0°C 以上の8個の値からなるBグループとに分けて平均値を求めたところ、Aグループは -3.0°C 、Bグループは 13.5°C であった。このとき、1月から12月までの x の平均値は $\boxed{ハ} . \boxed{ヒ}^{\circ}\text{C}$ である。

(2) (1) で用いた12個の値からなるデータのうちの1個の値に誤りが見つかった。 26.0 ($^{\circ}\text{C}$) となっている x の値が、正しくは 14.0 ($^{\circ}\text{C}$) であった。 x の値の誤りを修正すると、 x の平均値は $\boxed{フ} . \boxed{ヘ}^{\circ}\text{C}$ になる。また、 x の分散は $\boxed{ホ}$ 。

$\boxed{ホ}$ については、次の①~③の中から正しいものを一つ選び、その番号を解答用紙のホの解答欄にマークして答えなさい。

- ① 修正前より増加する
- ② 修正前より減少する
- ③ 修正前と同じである

6 箱の中に、赤玉1個、白玉1個の合計2個の玉が入っています。この箱の中の玉をよくかき混ぜて1個の玉を取り出し、取り出した玉の色を記録して玉を箱に戻す操作を、同じ色が2回記録されるまで繰り返します。赤玉を取り出すごとに2点、白玉を取り出すごとに1点を獲得します。

(1) 獲得した点数の合計が2点である確率は $\frac{\boxed{マ}}{\boxed{ミ}}$ である。

(2) 獲得した点数の合計が5点である確率は $\frac{\boxed{ム}}{\boxed{メ}}$ である。

(3) 獲得する点数の合計の期待値は $\frac{\boxed{モヤ}}{\boxed{ユ}}$ 点である。

(9枚のうち4)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

2 次の1・2に答えなさい。

1 次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 整式 $P(x)$ を $x+3$ で割ると余りは1, $2x-1$ で割ると余りは8である。 $P(x)$ を $2x^2+5x-3$ で割ったときの余りは $\boxed{\text{ア}}$ $x + \boxed{\text{イ}}$ である。(2) $x^{20}+1$ を $(x-1)^2$ で割ったときの余りは $\boxed{\text{ウエ}}$ $x - \boxed{\text{オカ}}$ である。2 $f(x) = x^3 - (4a+3)x^2 + 17ax - 15a$ ($a > 0$)について考えます。(1) $f(\boxed{\text{キ}}) = 0$ となるから, $f(x)$ は $x - \boxed{\text{キ}}$ を因数にもつ。(2) 3次方程式 $f(x) = 0$ が異なる3つの実数解をもつとき, 定数 a の値の範囲は $\frac{\boxed{\text{ク}}}{\boxed{\text{ケ}}} < a < \frac{\boxed{\text{コ}}}{\boxed{\text{サ}}}$, $\frac{\boxed{\text{シ}}}{\boxed{\text{ス}}} < a$ である。

3 1辺の長さが1cmの正六角形ABCDEFについて考えます。辺ABの中点をG, 辺DEの中点をH, 辺EFを1:3に内分する点をIとします。また, 線分BIと線分GHの交点をPとします。

 $\overrightarrow{AB} = \vec{a}$, $\overrightarrow{AF} = \vec{b}$ とすると, \overrightarrow{AG} , \overrightarrow{AH} は, \vec{a} , \vec{b} を用いて,

$$\overrightarrow{AG} = \frac{\boxed{\text{ア}}}{\boxed{\text{イ}}} \vec{a}, \quad \overrightarrow{AH} = \frac{\boxed{\text{ウ}}}{\boxed{\text{エ}}} \vec{a} + \boxed{\text{オ}} \vec{b}$$

と表される。

GP:PH = s:(1-s), BP:PI = t:(1-t)とすると

$$\begin{aligned} \overrightarrow{AP} &= (1-s)\overrightarrow{AG} + s\overrightarrow{AH} \\ &= \left(\frac{\boxed{\text{カ}}}{\boxed{\text{キ}}} + s \right) \vec{a} + \boxed{\text{ク}} s \vec{b} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \overrightarrow{AP} &= (1-t)\overrightarrow{AB} + t\overrightarrow{AI} \\ &= \left(1 - \frac{\boxed{\text{ケ}}}{\boxed{\text{コ}}} t \right) \vec{a} + \frac{\boxed{\text{サ}}}{\boxed{\text{シ}}} t \vec{b} \end{aligned}$$

ここで, $\vec{a} \neq \vec{0}$, $\vec{b} \neq \vec{0}$ で, かつ \vec{a} , \vec{b} は平行でないから

$$\frac{\boxed{\text{カ}}}{\boxed{\text{キ}}} + s = 1 - \frac{\boxed{\text{ケ}}}{\boxed{\text{コ}}} t, \quad \boxed{\text{ク}} s = \frac{\boxed{\text{サ}}}{\boxed{\text{シ}}} t$$

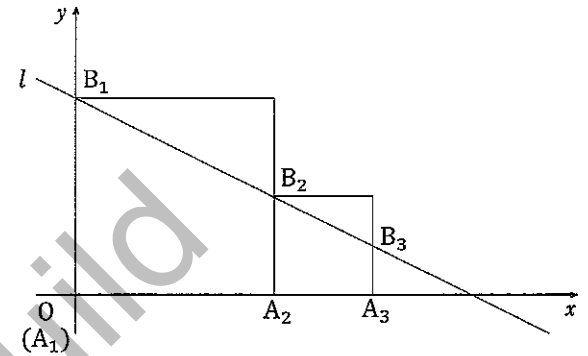
これを解いて, $s = \frac{\boxed{\text{ス}}}{\boxed{\text{セソ}}}$, $t = \frac{\boxed{\text{タ}}}{\boxed{\text{チ}}}$ つまり, $\overrightarrow{AP} = \frac{\boxed{\text{ツ}}}{\boxed{\text{テ}}}$ $\vec{a} + \frac{\boxed{\text{ト}}}{\boxed{\text{ナ}}}$ \vec{b} また, 四角形ABPFの面積は $\frac{\boxed{\text{ニ}} \sqrt{\boxed{\text{ヌ}}}}{\boxed{\text{ネノ}}}$ cm^2 である。

(9枚のうち5)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 4 右の図のように、点(0,0)を A_1 、点(0,1)を B_1 とし、 B_1 を通り、傾き a (ただし、 $-1 < a < 0$)の直線を l とします。辺 A_1B_1 を1辺とする正方形 P_1 をつくり、この正方形 P_1 の頂点のうち、 x 軸上にある頂点で A_1 と異なる点を A_2 、正方形 P_1 の辺と直線 l の交点で B_1 と異なる点を B_2 とします。次に、辺 A_2B_2 を1辺とする正方形 P_2 をつくり、この正方形 P_2 の頂点のうち、 x 軸上にある頂点で A_2 と異なる点を A_3 、正方形 P_2 の辺と直線 l の交点で B_2 と異なる点を B_3 とします。以下、同様にして辺 A_nB_n を1辺とする正方形 P_n をつくり、この正方形 P_n の頂点のうち、 x 軸上にある頂点で A_n と異なる点を A_{n+1} 、正方形 P_n の辺と直線 l の交点で B_n と異なる点を B_{n+1} とします。



B_n の y 座標を y_n とし、正方形 P_n の面積を S_n とします。次の1・2に答えなさい。

- 1 $a = -\frac{1}{3}$ のとき、

$$y_1 = \boxed{\text{ア}}, y_2 = \frac{\boxed{\text{イ}}}{\boxed{\text{ウ}}}, y_3 = \frac{\boxed{\text{エ}}}{\boxed{\text{オ}}} \text{であり,}$$

$$y_{n+1} = \frac{\boxed{\text{カ}}}{\boxed{\text{キ}}} y_n \text{が成り立つ。}$$

$$\text{よって, } \sum_{n=1}^{\infty} S_n = \frac{\boxed{\text{ク}}}{\boxed{\text{ケ}}}$$

- 2 $\sum_{n=1}^{\infty} S_n = \frac{16}{15}$ となるとき、 $a = \frac{\boxed{\text{コサ}}}{\boxed{\text{シ}}}$ である。

(9枚のうち6)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 5 博子さんは、友人から、「タンパク質、カルシウム、鉄を摂取するために牛乳と豆乳を毎日飲んでいる。」と聞きました。博子さんは、自分も毎日牛乳と豆乳を飲み、一日にタンパク質を15g以上、カルシウムを200mg以上、鉄を3.2mg以上摂取したいと考えています。一日の牛乳と豆乳の飲む量の合計をできるだけ少なくするためには、一日に牛乳、豆乳をそれぞれ何mLずつ飲めばよいですか。なお、牛乳100mL、豆乳100mLに含まれるタンパク質、カルシウム、鉄の量は次の表の値を用いなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

	タンパク質	カルシウム	鉄
牛乳	3.5 g	113 mg	0.1 mg
豆乳	3.2 g	14 mg	1.2 mg

(9枚のうち7)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

6 複素数平面上の原点 0 を中心とする半径 1 の円に内接する正五角形を考えます。その正五角形の頂点を表す複素数を、反時計回りに z_1, z_2, z_3, z_4, z_5 とします。次の 1・2 に答えなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

1 $\alpha = \cos \frac{2}{5}\pi + i \sin \frac{2}{5}\pi$ とするとき、 z_2 を α と z_1 を用いて表しなさい。

2 $z_1 + z_2 + z_3 + z_4 + z_5 = 0$ が成り立つことを証明しなさい。

7 次の 1・2 に答えなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

1 定積分 $\int_0^1 \frac{1}{1+x^2} dx$ を求めなさい。

2 3以上の整数 n に対して、次の不等式が成り立つことを証明しなさい。

$$\int_0^1 \frac{1}{1+x^n} dx > \frac{\pi}{4}$$

(9枚のうち8)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 8 平成30年3月告示の高等学校学習指導要領に示された数学科の目標は、柱書として示された目標と、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の3つの柱に沿った(1)から(3)までの目標から成り立っています。次の文章は、このうち(2)と(3)を示したものです。下の1・2に答えなさい。

- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、 考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、 したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

- 1 空欄 に当てはまる語句を、次の①～④の中から選び、その番号を解答用紙のアの解答欄にマークして答えなさい。

- ① 数理的・数学的
- ② 主体的・対話的
- ③ 統合的・発展的
- ④ 多面的・批判的

- 2 空欄 , に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を解答用紙のイの解答欄にマークして答えなさい。

	B	C
①	粘り強く	評価・改善
②	粘り強く	活用・判断
③	協働的に	評価・改善
④	協働的に	活用・判断

(9枚のうち9)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 9 平成30年3月告示の高等学校学習指導要領 数学 数学Ⅲ 内容 (2)微分法 合成関数の微分法に関する授業において、次の【問題】を出題したところ、ある生徒が下のように誤った【解答】を書きました。

【問題】

次の関数を微分しなさい。

$$y = (2x + 1)^3$$

【解答】

$$y' = 3(2x + 1)^2$$

これについて、次の1・2に答えなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

- 1 導関数の定義にしたがって、関数 $y = (2x + 1)^3$ を微分しなさい。
- 2 あなたは、このような誤った【解答】をしている生徒が、合成関数の導関数について理解し、それを求めることができるようにするために、どのような指導を行いますか。簡潔に書きなさい。

氏 名

受験番号					
0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9

〔記入上の注意〕

- 余白には何も記入しないでください。
- HBまたはBの鉛筆で該当する ○ にマークしてください。
マーク例 <良い例> ●
<悪い例> ⊗ ⊘ ⊙
- 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
- 受験番号については、6桁の数字を記入したうえで、該当する ○ にマークしてください。

1	解答番号	解 答 欄											
	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユ	⊖	⊕	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

2	解答番号	解 答 欄											
	アイウエオカキクケコサシス	⊖	⊕	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

3	解答番号	解 答 欄											
	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノ	⊖	⊕	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

4	解答番号	解 答 欄											
	アイウエオカキクケコサシ	⊖	⊕	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

8	解答番号	解 答 欄											
	アイ	⊖	⊕	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

5

高等学校 数学科 記述式解答用紙

(4枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

1~4は、マーク式解答用紙に記入すること。

問題番号	解答欄
5	

5

高等学校 数学科 記述式解答用紙

(4枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄
	1	
6	2	

kyosai-guild

5

高等学校 数学科 記述式解答用紙

(4枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄
7	1	
	2	

5

高等学校 数学科 記述式解答用紙

(4枚のうち4)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

8は、マーク式解答用紙に記入すること。

問題番号	解答欄
1	
2	

9

kyosai-guild

高等学校数学科採点基準

6枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点		
1	1	(1)	ア 4		4	8	
		(2)	イ 2		4		
	2	(1)	ウ	8	8つとも合っているもの だけを正答とする。	4	8
			エ	1			
			オ	9			
			カ	2			
			キ	0			
			ク	0			
			ケ	0			
			コ	0			
		(2)	サ	1	5つとも合っているもの だけを正答とする。	4	
			シ	9			
	ス		8				
	セ		1				
	ソ		9				
	3	(1)	タ	5	3つとも合っているもの だけを正答とする。	4	8
			チ	6			
			ツ	2			
		(2)	テ	7	3つとも合っているもの だけを正答とする。	4	
			ト	1			
ナ			2				
4		ニ	0	4つとも合っているもの だけを正答とする。	4	4	
		ヌ	2				
		ネ	7				
		ノ	4				
5	(1)	ハ	8	2つとも合っているもの だけを正答とする。	4	1 2	
		ヒ	0				
	(2)	フ	7	2つとも合っているもの だけを正答とする。	4		
		ヘ	0				
		ホ	2				
6	(1)	マ	1	2つとも合っているもの だけを正答とする。	4	1 2	
		ミ	4				
	(2)	ム	1	2つとも合っているもの だけを正答とする。	4		
		メ	4				
	(3)	モ	1	3つとも合っているもの だけを正答とする。	4		
		ヤ	5				
	ユ	4					

高等学校数学科採点基準

6枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点		
2	1	(1) ア 2	2つとも合っているもの だけを正答とする。	3	8	
		イ 7				
		(2) ウ 2	4つとも合っているもの だけを正答とする。	5		
						エ 0
						オ 1
						カ 8
	2	(1) キ 3	6つとも合っているもの だけを正答とする。	5	8	
		ク 5				
		ケ 4				
		コ 9				
		サ 7				
		シ 9				
		ス 7				
		3				20
3	ア 1	2つとも合っているもの だけを正答とする。	2			
	イ 2	3つとも合っているもの だけを正答とする。	2			
	ウ 3					
	エ 2	3つとも合っているもの だけを正答とする。	3			
	オ 2					
	カ 1					
	キ 2	4つとも合っているもの だけを正答とする。	3			
	ク 2					
	ケ 1					
	コ 4					
	サ 7	5つとも合っているもの だけを正答とする。	3			
	シ 4					
	ス 7					
	セ 1					
	ソ 8					
	タ 4	4つとも合っているもの だけを正答とする。	2			
	チ 9					
	ツ 8					
	テ 9					
	ト 7	4つとも合っているもの だけを正答とする。	5			
ナ 9						
ニ 5						
ヌ 3						
ネ 1						
ノ 2						

高等学校数学科採点基準

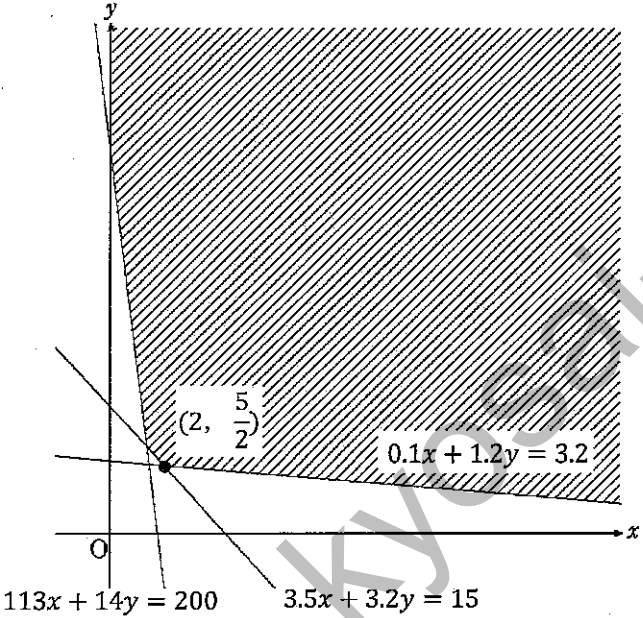
6枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点		
4	1	ア	1		2	15	20
		イ	2	2つとも合っているものだけを正答とする。	3		
		ウ	3				
		エ	4				
		オ	9	2つとも合っているものだけを正答とする。	3		
		カ	2				
		キ	3				
		ク	9	2つとも合っているものだけを正答とする。	4		
		ケ	5				
	2	コ	－ (マイナス)	3つとも合っているものだけを正答とする。	5	5	
		サ	3				
		シ	4				

kyosai-gaku

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
5	<p>牛乳を $100x$ mL, 豆乳を $100y$ mL 飲むとすると, 与えられた条件は次の5つの不等式で表すことができる。</p> $\begin{cases} 3.5x + 3.2y \geq 15 \\ 113x + 14y \geq 200 \\ 0.1x + 1.2y \geq 3.2 \\ x \geq 0 \\ y \geq 0 \end{cases}$ <p>この連立不等式の表す領域を D とすると, 領域 D は下の図の斜線部分で, 境界線を含む。</p>  <p>牛乳と豆乳の飲む量の合計を $100k$ mL として, 直線 $x + y = k$ と領域 D が共有点をもつような k の最小値を考える。</p> <p>直線 $x + y = k$ は傾きが -1, 切片が k なので, 直線 $x + y = k$ が点 $(2, \frac{5}{2})$ を通るとき k は最小値をとる。</p> <p>つまり, 牛乳を 200 mL, 豆乳を 250 mL 飲めばよい。</p>		20

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
6	1 $z_2 = \alpha z_1$		3
	2 複素数平面上の各点を原点Oのまわりに $\frac{2}{5}\pi$ だけ回転することを考える。 この回転により、点 z_1 は点 z_2 に、点 z_2 は点 z_3 に、点 z_3 は点 z_4 に、点 z_4 は点 z_5 に、点 z_5 は点 z_1 に移る。したがって、 $z_2 = \alpha z_1, \quad z_3 = \alpha z_2 = \alpha^2 z_1$ $z_4 = \alpha z_3 = \alpha^3 z_1, \quad z_5 = \alpha z_4 = \alpha^4 z_1$ これより、 $z_1 + z_2 + z_3 + z_4 + z_5 = z_1 + \alpha z_1 + \alpha^2 z_1 + \alpha^3 z_1 + \alpha^4 z_1$ $= (1 + \alpha + \alpha^2 + \alpha^3 + \alpha^4) z_1$ $= \frac{1 - \alpha^5}{1 - \alpha} z_1$ ここで、 $\alpha^5 = \left(\cos \frac{2}{5}\pi + i \sin \frac{2}{5}\pi\right)^5 = \cos\left(\frac{2}{5}\pi \times 5\right) + i \sin\left(\frac{2}{5}\pi \times 5\right)$ $= \cos 2\pi + i \sin 2\pi$ $= 1$ よって、 $z_1 + z_2 + z_3 + z_4 + z_5 = 0$		15
7	1 $x = \tan \theta$ とおくと $\int_0^1 \frac{1}{1+x^2} dx = \int_0^{\frac{\pi}{4}} \frac{1}{1+\tan^2 \theta} \cdot \frac{1}{\cos^2 \theta} d\theta$ $= \int_0^{\frac{\pi}{4}} d\theta$ $= \left[\theta \right]_0^{\frac{\pi}{4}}$ $= \frac{\pi}{4}$		8
	2 $n \geq 3$ のとき、 $0 \leq x \leq 1$ において $0 \leq x^n \leq x^2$ であるから $\frac{1}{1+x^n} \geq \frac{1}{1+x^2}$ 等号が成り立つのは、 $x=0, 1$ のときだけであるから、 $\int_0^1 \frac{1}{1+x^n} dx > \int_0^1 \frac{1}{1+x^2} dx$ よって $\int_0^1 \frac{1}{1+x^n} dx > \frac{\pi}{4}$		10
8	1 ア 3		5
	2 イ 1		5

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
1	$y' = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{\{2(x+h)+1\}^3 - (2x+1)^3}{h}$ $= \lim_{h \rightarrow 0} \frac{\{(2x+1)+2h\}^3 - (2x+1)^3}{h}$ $= \lim_{h \rightarrow 0} \frac{3 \cdot (2x+1)^2 \cdot 2h + 3 \cdot (2x+1) \cdot (2h)^2 + (2h)^3}{h}$ $= \lim_{h \rightarrow 0} \{3 \cdot (2x+1)^2 \cdot 2 + 3 \cdot (2x+1) \cdot 4h + 8h^2\}$ $= 6(2x+1)^2$		1 2	
9 2	<p>この生徒に対して、例えば、次のような指導をしていくことが考えられる。まず、【問題】で与えられた$(2x+1)^3$を展開した上で微分した式と、誤った【解答】の$3(2x+1)^2$を展開した式を比較することによって、誤りに気付かせる。そして、$y = (2x+1)^3$を導関数の定義にしたがって微分することで、正しい答えを導かせる。$y = \{f(x)\}^3$の形のいくつかの関数について、導関数の定義にしたがって微分した結果と誤った【解答】による考え方で微分した結果を比較するなどして、x^3の微分と$\{f(x)\}^3$の微分の違いに気付かせ、合成関数の導関数の公式について理解を深めさせる。さらに、その公式を用いているいろいろな関数の導関数が求められるようにする。</p>	<p>問いを正しくとらえていれば、内容は異なっていない。</p>	1 4	2 6